

白石市議会要覧

白石市議会事務局

市 民 憲 章

雄大な蔵王を仰ぐわたくしたち白石市民は

自然を愛し 住みよい白石を つくります

文化を高め 美しい心を そだてます

健康で あたたかい家庭を きずきます

仕事にはげみ 豊かな郷土を つくります

きまりを守り 明るい社会を きずきます

白 石 市 の シ ン ボ ル

市の木



ぶ な

市の花



やまぶき

市の鳥



うぐいす

目 次

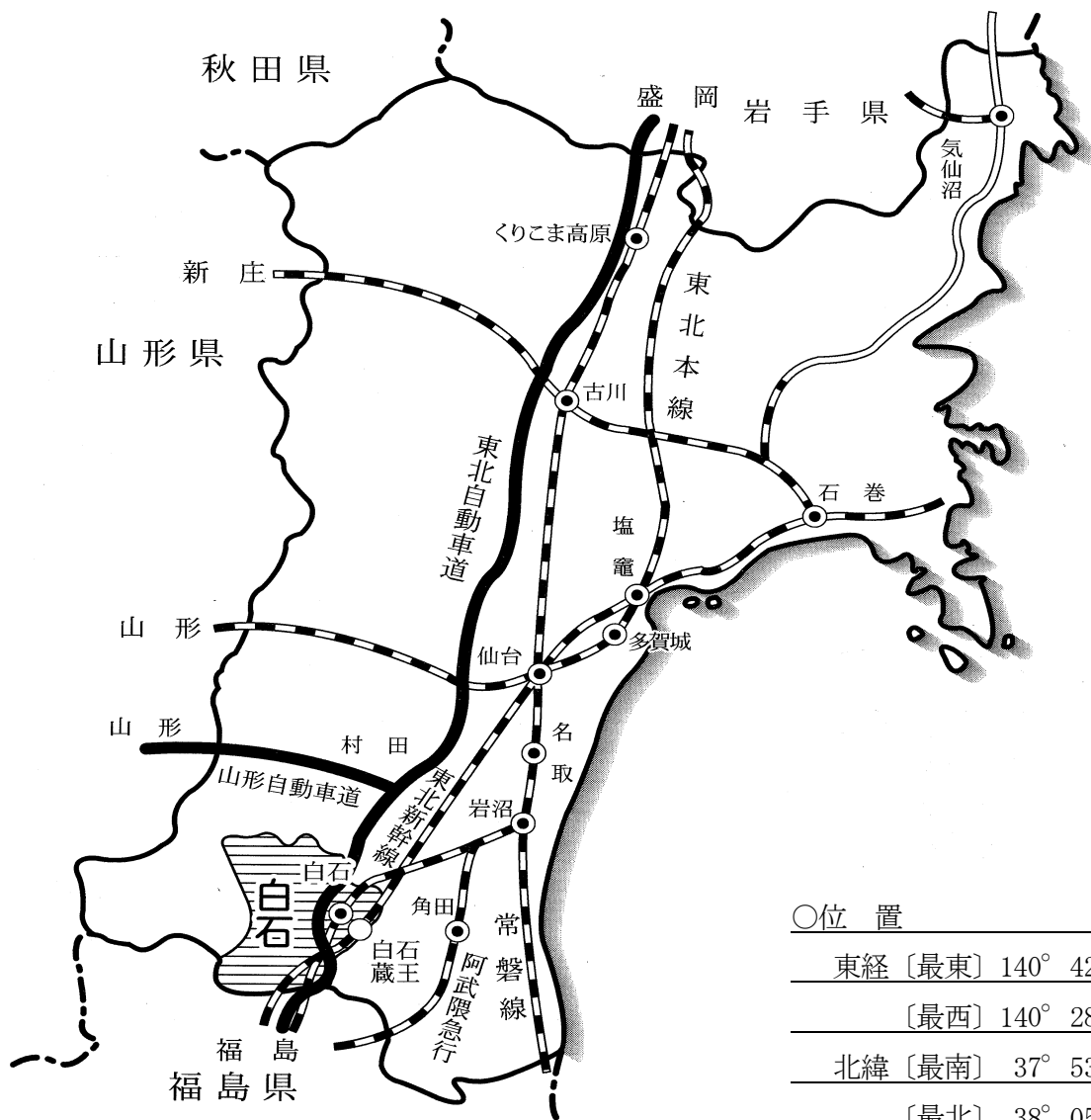
(市 勢)	
1 市の概要	1
2 人 口	1
3 観光と物産	2
4 姉妹都市提携	2
5 財 政	3
6 名 誉 市 民	5
7 特別職礼遇者	5
8 歴代市長・副市長・収入役	6
9 歴代議長・副議長	7
10 執行機関	8
(議会の概要)	
1 議員名簿	9
2 会派別名簿	10
3 一部事務組合議会議員	10
4 監 査 委 員	10
5 議会の選挙	10
6 報酬、給料、費用弁償、交際費	11
7 表 彰 関 係	12
8 議会の構成	13
9 議会事務局	13
10 委 員 会	14
11 委員名簿	15
12 議会活動(会議開催状況、議案、請願の審議状況等)	16
13 一般質問(質問者及び質問事項)	18
14 行政視察	20
15 議場配置図	20
(関係例規)	
1 白石市議会基本条例	21
2 白石市議会会議規則	27
3 白石市議会申し合わせ事項	45
4 慶弔に関する内規	65
5 一般質問等の運用について	66
6 質疑の運用について	73
7 意見交換会の運用について	78
8 一般会議の運用について	81
9 災害時議員行動マニュアル	84
10 書 式 例	86



市章

この黒つり鐘は仙台城主伊達家の家臣白石城主藩祖片倉小十郎公の軍旗を表わし、外円は合併時の町村がまるくおさまり、白円は白石市の白を表わし、車の両輪の如く限りない前途を象徴したもの。

白石市の位置



○位置

東経〔最東〕 140° 42′

〔最西〕 140° 28′

北緯〔最南〕 37° 53′

〔最北〕 38° 05′

標高(海拔) 43m

1. 市の概要

白石市は宮城県の内陸部にあり、南境を福島県に接し、仙台市と福島市のほぼ中央に位置しています。伊達氏の重臣片倉小十郎公の城下町として発展し、昭和29年4月に白石町外6カ村が合併して白石市が誕生し、昭和32年3月に1村を編入し現在に至っています。

人口は約3万1千人、面積は286.48平方キロメートルで、西は国定公園蔵王連峰、東は阿武隈山系に囲まれた盆地を中心に、市街地、農地及び森林地帯が形成され、中央部には白石川が流れ“こけしのふるさと”として美しい風土に恵まれた田園観光都市です。

また白石市は、南北に国道4号、東北縦貫自動車道、東北本線が走り、さらに東北新幹線が昭和57年6月に開業し、平成3年6月東京駅乗入れにより白石－東京間を2時間弱で結び文字どおり首都圏のビジネス範囲に入ったほか、東西に国道113号が延び太平洋と日本海を連絡するなど交通の要衝として、産業、文化の要であり、宮城県南部の中心をなす交流拠点都市です。

2. 人口

白石市の人口は昭和32年の4万6,670人をピークに、急激な経済社会の変化に伴い、山間部を中心に新規学卒者などの社会的流出が増大するなど減少傾向にありました。その後、若者の定着、職住近接を目的に工場誘致等の施策を実施し、社会的流出を抑え昭和50年から昭和63年にかけては増加傾向にありましたが、平成に入ると横ばい傾向となり、平成6年からは少子化による自然減少と転出超過による社会減少等が重層的に影響し、人口減少が続いています。

(1)人口・世帯数

年次	世帯数	人口			備考
		総人口	男	女	
昭和32年	8,179	46,670	22,516	24,154	小原村編入
35年	8,607	43,911	20,909	23,002	国勢調査
40年	9,133	41,928	20,058	21,870	国勢調査
50年	10,219	40,862	19,677	21,185	国勢調査
60年	11,316	42,262	20,598	21,664	国勢調査
平成2年	11,569	42,030	20,480	21,551	国勢調査
7年	12,068	41,852	20,487	21,365	国勢調査
12年	12,402	40,793	19,919	20,874	国勢調査
17年	12,587	39,492	19,140	20,352	国勢調査
22年	12,532	37,422	18,158	19,264	国勢調査
27年	12,585	35,272	17,118	18,154	国勢調査
令和2年	12,518	32,758	15,976	16,782	国勢調査
3年	14,240	32,889	16,151	16,738	3月31日現在
4年	14,183	32,326	15,899	16,427	3月31日現在
5年	14,142	31,746	15,655	16,091	3月31日現在
6年	13,991	30,914	15,251	15,663	3月31日現在
7年	13,991	30,370	14,939	15,431	3月31日現在

※平成25年から外国人住民を含む値

(2) 産業別就業人口（国勢調査）

年次	回数	就 業 者 数					
		第一次産業	比 率	第二次産業	比 率	第三次産業	比 率
平成	12	1,742	8.7	8,233	40.8	10,167	50.5
	17	1,399	7.3	7,056	36.9	10,485	55.8
	22	1,025	6.2	5,988	36.0	9,624	57.8
	27	1,111	6.7	5,631	33.9	9,868	59.4
令和	2	830	5.4	5,147	33.7	9,293	60.9

3. 観光と物産

(1) 主な観光地と名所旧跡

白石城（三階櫓・大手門・歴史探訪ミュージアム）、武家屋敷（旧小関家）、しろいし情報館、古典芸能伝承の館（碧水園）、弥治郎こけし村、片倉家御廟所、甲冑堂、孝子堂、神石白石、壽丸屋敷、みやぎ蔵王白石スキー場、南蔵王野営場（昭和57年・61年に日本ジャンボリー開催）、南蔵王色彩の森（水芭蕉の森・不伐の森）、材木岩公園（検断屋敷）、虎岩公園、スパッシュランドパーク、スパッシュランド大吊橋、萬蔵稲荷神社、小原温泉、鎌先温泉、かつらの湯、しろいしサンプーク、宮城蔵王キツネ村

(2) 主な物産

う め ん（奥州白石^{うーめん}温麵振興条例施行により毎月7日は白石温麵の日）
 こ け し（全日本こけしコンクール開催）
 白 石 和 紙（札入れ、名刺、名刺入れ等）
 食 品 等（ササニシキ、凍豆腐、ころ柿、もろきゅうり、みそ、醤油、清酒等）

4. 姉妹都市提携

市 名	都 市 提 携 の 契 機
北海道登別市 人口 43,130人 (R7. 3. 31現在) 面積 212.21km ² [昭和58年9月30日議決、同年10月26日提携]	明治2年、白石城主片倉邦憲の移民一行が初めて開拓の斧をふるった地であるという、歴史的なつながりによるもの。
神奈川県海老名市 人口 141,488人 (R7. 4. 1現在) 面積 26.59km ² [平成6年9月22日議決、同年10月23日提携]	平成3年11月1日に友好都市となって以来、数々の交流を重ね、白石市市制施行40周年を機会に、より親密な交流を行うこととしたため。

※登別市、海老名市とは平成23年4月29日「トライアングル交流宣言」を行いました。
 （その後、登別市と海老名市は、平成27年5月18日に姉妹都市提携を結びました。）

5. 財政 [3カ年平均財政力指数(令和4年度～令和6年度) 0.494]

(1) 一般会計・特別会計 [当初予算]

(単位:千円%)

	令和7年度		令和6年度	
	金額	対前年度比	金額	対前年度比
一般会計	19,217,307	13.5	16,925,771	△ 2.7
特別会計	国民健康保険	3,686,498	3,770,409	△ 0.5
	介護保険	4,048,795	4,020,175	4.5
	後期高齢者医療	521,915	517,484	11.4
	計	8,257,208	8,308,068	0.6
合計	27,474,515	8.9	25,233,839	△ 1.6

(2) 企業会計 [当初予算]

(単位:千円)

	令和7年度		令和6年度	
	金額	対前年度比	金額	対前年度比
水道事業会計	1,222,099	△ 5.2	1,289,675	1.3
下水道事業会計	2,008,964	9.7	1,830,966	15.1
病院事業会計	1,358,997	△ 13.9	1,577,919	△ 1.5

※企業会計については収益的支出+資本的支出の額

(3) 財源内訳 [令和7年度当初予算]

(単位:千円%)

種別	金額	構成比	種別	金額	構成比
自主財源	7,848,864	40.84	依存財源	11,368,443	59.16
(市税)	4,139,591	21.54	(地方交付税)	4,300,000	22.38

(4) 一般会計当初予算（令和7年度）

（単位：千円，％）

歳 入			歳 出		
款 別	予 算 額	構成比	款 別	予 算 額	構成比
1. 市 税	4,139,591	21.54	1. 議 会 費	164,347	0.85
2. 地 方 譲 与 税	211,800	1.10	2. 総 務 費	2,877,380	14.97
3. 利 子 割 交 付 金	2,400	0.01	3. 民 生 費	5,490,261	28.57
4. 配 当 割 交 付 金	13,600	0.07	4. 衛 生 費	1,919,173	9.99
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	14,800	0.08	5. 労 働 費	1,617	0.01
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	85,200	0.44	6. 農 林 水 産 業 費	345,373	1.80
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	818,600	4.26	7. 商 工 費	672,171	3.50
8. ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	7,000	0.04	8. 土 木 費	4,123,951	21.46
9. 環 境 性 能 割 交 付 税	25,500	0.13	9. 消 防 費	553,374	2.88
10. 地 方 特 例 交 付 金	20,900	0.11	10. 教 育 費	1,651,507	8.59
11. 地 方 交 付 税	4,300,000	22.38	11. 災 害 復 旧 費	4,263	0.02
12. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	2,500	0.01	12. 公 債 費	1,398,617	7.28
13. 分 担 金 及 び 負 担 金	51,130	0.27	13. 予 備 費	15,273	0.08
14. 使 用 料 及 び 手 数 料	172,562	0.90			
15. 国 庫 支 出 金	3,207,824	16.69			
16. 県 支 出 金	1,023,319	5.32			
17. 財 産 収 入	41,805	0.22			
18. 寄 附 金	402,503	2.09			
19. 繰 入 金	2,177,578	11.33			
20. 繰 越 金	1	0.00			
21. 諸 収 入	863,694	4.49			
22. 市 債	1,635,000	8.51			
歳 入 合 計	19,217,307		歳 出 合 計	19,217,307	

(5) 歳出性質別予算（令和7年度当初予算）

（単位：千円，％）

性 質 別	予 算 額	構成比	性 質 別	予 算 額	構成比
1. 人 件 費	3,078,776	16.02	7. 公 債 費	1,398,617	7.28
2. 物 件 費	3,366,894	17.52	8. 積 立 金	134,369	0.70
3. 維 持 補 修 費	186,637	0.97	9. 出 資 金	663,528	3.45
4. 扶 助 費	2,884,181	15.01	10. 貸 付 金	262,251	1.36
5. 補 助 費 等	1,813,490	9.44	11. 繰 出 金	1,567,252	8.16
6. 投 資 的 経 費	3,846,039	20.01	12. 予 備 費	15,273	0.08
(1) 普 通 建 設 事 業 費	[3,841,776]	[19.99]			
(2) 災 害 復 旧 事 業 費	[4,263]	[0.02]	合 計	19,217,307	

6. 名誉市民 (昭和48年1月1日、市政施行20周年記念に推挙)

氏 名	議 決 年 月 日
朝 倉 松 吉 (県議、町長、商工会議所会頭などを歴任)	昭和48年9月17日

7. 特別職にあった者の礼遇 (昭和57年2月の定例会で条例制定議決)

(1) 該 当 者

- ①市長の職にあった者
- ②市議会議長の職にあった者
- ③8年以上市議会議員の職にあった者
- ④8年以上副市長、助役又は収入役の職にあった者
- ⑤8年以上教育長の職にあった者

(2) 礼 遇 事 項

- ①市が主催する重要な式典への参列
- ②市勢要覧その他市政に関する重要な刊行物の配付
- ③その他市長が特に必要と認めた事項
- ④死亡したときは、弔意を表する

(3) 礼 遇 者 名 簿

氏 名	摘 要	氏 名	摘 要
黒 澤 善 松	10代～12代 収入役	保 科 惣一郎	3期 12年 (議員)
川 井 貞 一	9代～13代 市 長	安 藤 佳 生	4期 16年 (議員)
佐 竹 芳	7期 28年 (議員)	風 間 康 静	14代～16代 市 長
制 野 昭 市	7期 28年 (議員)	志 村 新一郎	3期 12年 (議員)
谷 津 清 夫	3期 12年 (議員)	大 町 榮 信	4期 16年 (議員)
遊 佐 正 人	3期 12年 (議員)	管 野 恭 子	3期 12年 (議員)
林 茂	2期 8年 (議員)	山 谷 清	5期 20年 (議員)
高 橋 鈍 齋	3期 12年 (議員)	大 野 栄 光	4期 13年5カ月 (議員)
吉 田 貞 子	3期 10年10カ月 (議員)	平 間 知 一	4期 16年3カ月 (議員)
太 齋 義 勝	14代～16代 副市長	保 科 善一郎	2期 8年 (議員)
佐 藤 英 雄	5期 20年 (議員)	菊 地 正 昭	18代、19代 副市長
水 落 孝 子	3期 12年 (議員)		

8. 歴代市長・副市長・収入役

(1) 市長

代 順	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	麻 生 寛 道	S. 29. 5. 12	S. 33. 5. 11
二 代	麻 生 寛 道	33. 5. 12	37. 5. 11
三 代	麻 生 寛 道	37. 5. 12	41. 5. 11
四 代	麻 生 寛 道	41. 5. 12	45. 5. 11
五 代	麻 生 寛 道	45. 5. 12	49. 5. 11
六 代	麻 生 寛 道	49. 5. 12	51. 9. 27
七 代	鈴 木 孝 一 郎	51. 11. 14	55. 11. 13
八 代	関 谷 宗 一	55. 11. 14	59. 11. 13
九 代	川 井 貞 一	59. 11. 14	63. 11. 13
十 代	川 井 貞 一	63. 11. 14	H. 4. 11. 13
十 一 代	川 井 貞 一	H. 4. 11. 14	8. 11. 13
十 二 代	川 井 貞 一	8. 11. 14	12. 11. 13
十 三 代	川 井 貞 一	12. 11. 14	16. 11. 13
十 四 代	風 間 康 静	16. 11. 14	20. 11. 13
十 五 代	風 間 康 静	20. 11. 14	24. 11. 13
十 六 代	風 間 康 静	24. 11. 14	28. 11. 13
十 七 代	山 田 裕 一	28. 11. 14	R. 2. 11. 13
十 八 代	山 田 裕 一	R. 2. 11. 14	R. 6. 11. 13
十 九 代	山 田 裕 一	R. 6. 11. 14	在 職 中

(2) 副市長 (平成19年3月31日までは助役)

代 順	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	阿 部 末 吉	S. 30. 6. 1	S. 34. 5. 31
二 代	阿 部 末 吉	34. 6. 1	38. 5. 31
三 代	阿 部 末 吉	38. 6. 7	42. 6. 6
四 代	阿 部 末 吉	42. 6. 26	46. 6. 25
五 代	阿 部 末 吉	46. 7. 6	50. 7. 5
六 代	阿 部 末 吉	50. 7. 6	51. 10. 22
七 代	高 橋 亨	52. 1. 22	56. 1. 21
八 代	高 橋 亨	56. 1. 22	60. 1. 21
九 代	高 橋 亨	60. 1. 22	H. 元. 1. 21
十 代	高 橋 新 太 郎	H. 元. 1. 22	5. 1. 21
十 一 代	高 橋 新 太 郎	5. 1. 22	9. 1. 21
十 二 代	高 橋 新 太 郎	9. 1. 22	13. 1. 21
十 三 代	高 橋 新 太 郎	13. 1. 22	15. 7. 26
十 四 代	太 齋 義 勝	15. 9. 5	19. 9. 4
十 五 代	太 齋 義 勝	19. 9. 5	23. 9. 4
十 六 代	太 齋 義 勝	23. 9. 5	26. 3. 31
十 七 代	佐々木 徹	26. 4. 1	28. 12. 31
十 八 代	菊 地 正 昭	29. 1. 1	R. 2. 12. 31
十 九 代	菊 地 正 昭	R. 3. 1. 1	R. 6. 12. 31
二 十 代	村 上 忠 則	R. 7. 1. 1	在 職 中
二 十 一 代	大 庭 豪 樹	R. 7. 4. 1	在 職 中

(3) 収入役

代 順	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	菅 野 長 蔵	S. 30. 5. 13	S. 34. 5. 12
二 代	菅 野 長 蔵	34. 10. 15	38. 10. 14
三 代	菅 野 長 蔵	38. 10. 15	42. 10. 14
四 代	菅 野 長 蔵	42. 10. 15	46. 10. 14
五 代	菅 野 長 蔵	46. 10. 15	50. 10. 14
六 代	斎 藤 皆 五 郎	51. 1. 1	53. 4. 11
七 代	半 沢 嘉 一	53. 5. 5	57. 5. 4
八 代	半 沢 嘉 一	57. 5. 5	61. 5. 4
九 代	鈴 木 萬	61. 6. 10	H. 2. 6. 9
十 代	黒 沢 善 松	H. 2. 6. 10	6. 6. 9
十 一 代	黒 沢 善 松	6. 6. 10	10. 6. 9
十 二 代	黒 沢 善 松	10. 6. 10	14. 6. 9
十 三 代	太 齋 義 勝	14. 6. 10	15. 9. 4
十 四 代	角 張 國 男	15. 9. 5	地方自治法の改正により19. 3. 31退任

9. 歴代議長・副議長

(1) 議長

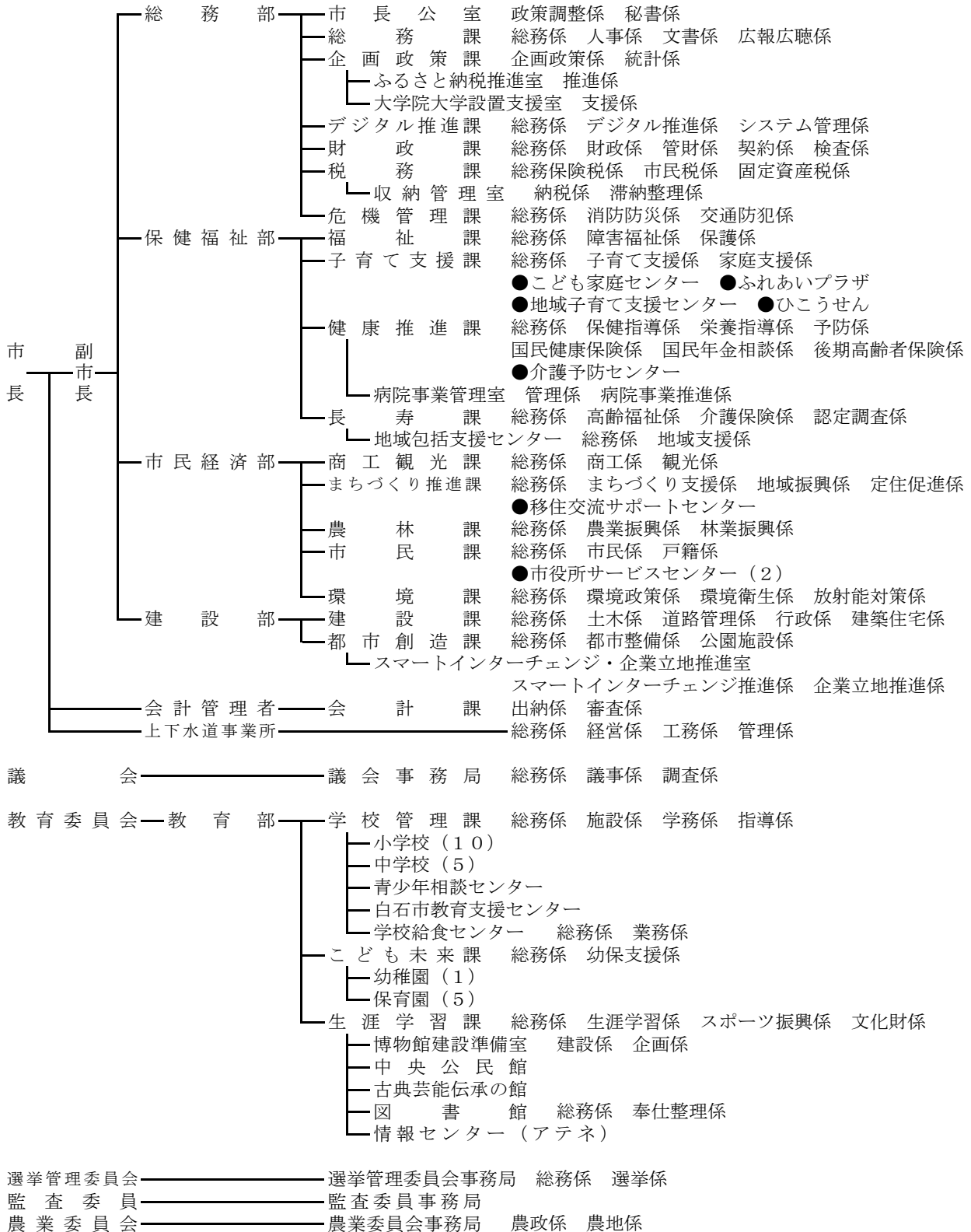
代 順	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	上 杉 喜書三郎	S. 29. 4. 14	S. 30. 3. 31
二 代	太 宰 虎 太 郎	30. 4. 12	34. 3. 31
三 代	太 宰 虎 太 郎	34. 4. 7	38. 3. 31
四 代	庄 司 猛 太 郎	38. 5. 20	41. 9. 26
五 代	飯 沼 吉右エ門	41. 10. 3	42. 4. 29
六 代	阿 部 燁 尾	42. 5. 16	42. 8. 8
七 代	保 科 善 久	42. 9. 18	46. 4. 29
八 代	山 田 活 吉	46. 5. 17	48. 3. 22
九 代	黒 沢 登	48. 3. 22	49. 3. 29
十 代	大 野 彦 七 郎	49. 5. 21	50. 4. 29
十 一 代	遠 藤 倉 雄	50. 5. 15	54. 4. 29
十 二 代	斎 彦 一	54. 5. 7	58. 4. 29
十 三 代	小 室 欣 一	58. 5. 12	62. 4. 29
十 四 代	山 谷 宗 吉	62. 5. 11	H. 3. 4. 29
十 五 代	大 槻 慶 治 郎	H. 3. 5. 13	5. 6. 24
十 六 代	高 橋 喜 多 雄	5. 6. 24	7. 4. 29
十 七 代	鹿 又 喜 男	7. 5. 16	9. 6. 26
十 八 代	佐 竹 芳	9. 6. 26	11. 4. 29
十 九 代	佐 藤 仲 式	11. 5. 11	13. 6. 22
二 十 代	制 野 昭 市	13. 6. 22	14. 6. 20
二 十 一 代	鈴 木 康 弘	14. 6. 20	15. 4. 29
二 十 二 代	鈴 木 康 弘	15. 5. 12	17. 6. 23
二 十 三 代	高 橋 忠 夫	17. 6. 23	19. 4. 29
二 十 四 代	佐 藤 英 雄	19. 5. 11	23. 7. 30
二 十 五 代	保 科 惣 一 郎	23. 8. 10	27. 7. 30
二 十 六 代	佐 久 間 儀 郎	27. 8. 7	29. 7. 27
二 十 七 代	志 村 新 一 郎	29. 7. 27	R. 1. 7. 30
二 十 八 代	小 川 正 人	R. 1. 8. 7	5. 7. 30
二 十 九 代	松 野 久 郎	5. 8. 10	在 職 中

(2) 副議長

代 順	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	松 田 成 一	S. 29. 4. 14	S. 30. 3. 31
二 代	阿 部 燁 尾	30. 4. 12	34. 3. 31
三 代	阿 部 燁 尾	34. 4. 7	38. 3. 31
四 代	保 科 善 久	38. 5. 20	42. 4. 29
五 代	斎 彦 一	42. 5. 16	46. 4. 29
六 代	斎 彦 一	46. 5. 17	50. 4. 29
七 代	矢ノ目 八 蔵	50. 5. 15	54. 4. 29
八 代	橋 本 徳 四 郎	54. 5. 7	58. 4. 29
九 代	吉 見 三 代 治	58. 5. 12	62. 4. 29
十 代	半 沢 良 吾	62. 5. 11	H. 3. 4. 29
十 一 代	長 沢 博	H. 3. 5. 13	7. 4. 29
十 二 代	佐 竹 芳	7. 5. 16	9. 6. 26
十 三 代	佐 藤 仲 式	9. 6. 26	11. 4. 29
十 四 代	鈴 木 康 弘	11. 5. 11	13. 6. 22
十 五 代	高 橋 忠 夫	13. 6. 22	14. 6. 20
十 六 代	村 上 義 博	14. 6. 20	15. 4. 29
十 七 代	菅 野 浩 一	15. 5. 12	19. 4. 29
十 八 代	小 川 正 人	19. 5. 11	23. 7. 30
十 九 代	安 藤 佳 生	23. 8. 10	27. 7. 30
二 十 代	大 町 栄 信	27. 8. 7	R. 1. 7. 30
二 十 一 代	澁 谷 政 義	R. 1. 8. 7	5. 7. 30
二 十 二 代	佐 藤 秀 行	5. 8. 10	在 職 中

10. 執行機関

(1) 市の行政機構図（令和7年7月1日現在）



(2) 市職員の定数、給料等（令和7年4月1日現在）

区分	定数	区分	定数
市長事務部局	249 (234)	農業委員会	3 (3)
議会事務局	5 (4)	上下水道事業	22 (13)
教育委員会	107 (87)		
選挙管理委員会	2 (2)	計	390
監査委員	2 (2)	(現員)	(344)

平均給与（一般行政）	376,511円
平均年齢（一般行政）	39.9歳

議 会 の 概 要

1. 議員名簿 (令和7年10月1日現在)

議長 松野久郎 副議長 佐藤秀行

議席番号	氏名	当選回数	所属常任委員会	党派	会派
1	角張大治	1	総務産業建設	無所属	信志の会
2	村上由紀	1	厚生文教	無所属	◎信志の会
3	佐藤龍彦	3	厚生文教	日本共産党	日本共産党
4	高子秀明	2	○厚生文教	無所属	自民市民の会
5	伊藤勝美	4	総務産業建設	無所属	自民市民の会
6	澁谷政義	4	総務産業建設	無所属	自民市民の会
7	沼倉啓介	7	厚生文教	無所属	◎自民市民の会
8	大森貴之	2	◎総務産業建設	公明党	公明党
9	佐久間儀郎	5	厚生文教	無所属	新風未来の会
10	佐久間順子	1	厚生文教	無所属	新風未来の会
11	大内卓也	1	○総務産業建設	無所属	新風未来の会
12	角張一郎	2	◎厚生文教	無所属	新風未来の会
13	佐藤秀行	3	厚生文教	無所属	新風未来の会
14	松野久郎	3	総務産業建設	無所属	新風未来の会
15	四竈英夫	6	総務産業建設	無所属	新風未来の会
16	小川正人	8	総務産業建設	無所属	◎新風未来の会

◎委員長
○副委員長

◎会長

(1)議員数 条例定数 16人 現員 16人

- 昭和57年3月特別委員会を設置し、調査検討。同年9月定例会に法定数30人に対し、4人の減員条例を議員提出、賛成多数で可決。
- 平成9年12月特別委員会を設置し、調査検討。平成10年9月定例会に2人の減員条例を議員提出、賛成多数で可決。
- 地方自治法の改正に伴い、平成12年2月定例会において議員定数条例(24人)を議員提出、満場一致で可決。
- 平成16年12月特別委員会を設置し、調査検討。平成18年2月定例会に3人の減員条例を議員提出、満場一致で可決。(施行：平成19年4月の統一地方選挙より)
- 平成23年3月東日本大震災により、統一地方選が延期されたことに伴い、任期が延長される。(平成23年7月30日満了)
- 平成23年6月定例会に3人の減員条例を議員提出、賛成多数で可決。(施行：平成23年7月31日の選挙より)
- 令和2年12月特別委員会を設置し、調査検討。令和4年12月定例会に2人の減員条例を議員提出、満場一致で可決。(施行：令和5年7月23日の選挙より)

(2)選挙 令和5年7月23日 投票率55.2%

(3)任期 令和9年7月30日満了

2. 会派別名簿 (令和7年3月10日現在)

名 称	人数	氏 名
新風未来の会 (令和5年7月31日結成)	8人	会長 小川正人 副会長 四竈英夫 幹事長 角張一郎 会計 大内卓也 佐久間儀郎 松野久郎 佐藤秀行 佐久間順子
自民市民の会 (令和5年7月31日結成)	4	会長 沼倉啓介 副会長 澁谷政義 幹事長 伊藤勝美 会計 高子秀明
公明党 (令和5年7月31日結成)	1	大森貴之
日本共産党 (令和5年7月31日結成)	1	佐藤龍彦
信志の会 (令和7年3月10日結成)	2	会長 村上由紀 幹事長 角張大治 兼会計

3. 一部事務組合議会議員 (令和5年8月10日選挙)

名 称	人数	氏 名
仙南地域広域行政 事務組合議会	2	松野久郎 小川正人
宮城県後期高齢者医療 広域連合議会	1	大森貴之

4. 監査委員 (令和5年8月10日選任)

名 称	人数	氏 名
監査委員 (議員選出)	1	四竈英夫

5. 議会の選挙

選挙の種類	被選挙人数	出席人数	有効投票	法定得票数	選挙の結果
議長 (R5. 8. 10)	1名	16名	14票	4票	Ⓔ 松野久郎 14
副議長 (R5. 8. 10)	1名	16名	13票	4票	Ⓔ 佐藤秀行 13
仙南地域広域行政 事務組合議会議員 (R5. 8. 10)	1名	16名	15票	4票	Ⓔ 小川正人 11 高子秀明 4
宮城県後期高齢者医療 広域連合議会議員 (R5. 8. 10)	1名	16名	15票	4票	Ⓔ 大森貴之 15

6. 報酬、給料、費用弁償、交際費

(1) 議員報酬月額

適用年月日 \ 区分	議 長	副 議 長	議 員	議員・監査委員
H 4. 12. 1	432,000	361,000	338,000	※ 38,700
6. 12. 1	442,000	371,000	348,000	※ 39,700
7. 12. 1	449,000	378,000	355,000	※ 40,100
8. 12. 1	456,000	385,000	362,000	※ 40,500
21. 12. 1	455,000	384,000	361,000	(同上)

※ 適用年月日 翌年4. 1

※議員報酬は上表の月額から2.5%減額（平成21年12月～平成27年7月）
月額から10%減額（令和2年7月～令和2年12月）

(2) 市長、副市長及び教育長の給料月額

適用年月日 \ 区分	市 長	副 市 長	教 育 長
H 4. 12. 1	925,000	740,000	620,000
6. 12. 1	939,000	751,000	630,000
7. 12. 1	946,000	758,000	636,000
8. 12. 1	953,000	765,000	642,000
21. 12. 1	950,000	763,000	640,000
22. 12. 1	949,000	762,000	639,000

※市長は上表の給料月額から10%減額、副市長及び教育長は上表の給料月額から5%減額
（平成15年12月～平成16年10月、平成17年1月～平成20年10月、平成21年1月～平成24年10月、平成25年1月～平成28年10月、令和2年7月～令和2年10月）

※市長は上表の給料月額から30%減額、副市長は上表の給料月額から20%減額（令和7年3月）

(3) 議員の期末手当（令和7年6月期以降の額）

$$6 \text{ 月 (報酬 + } \frac{\text{報酬額}}{\text{の15\%}} \text{)} \times \frac{172.5}{100} \quad 12 \text{ 月 (報酬 + } \frac{\text{報酬額}}{\text{の15\%}} \text{)} \times \frac{172.5}{100}$$

(4) 旅 費

日 当 1,500円／1日 宿泊料 13,000円／1泊

※職階による区分はない（日当は、東京都内を旅行する場合にのみ支給）

(5) 政務活動費

会派（一人会派含む）に所属議員1人につき月額 5,000円

（政務活動費の交付に関する条例）

(6) 会議出席費用弁償等

旅 費 自宅より市役所まで4km以上は旅客運賃実費支給としていたが、平成31年4月1日より廃止

※日当（1,500円）については、平成19年3月31日で廃止

(7) 交 際 費

令和7年度当初予算 議 長 交 際 費 300,000円

市 長 交 際 費 1,100,000円

7. 表彰関係

(1) 全国市議会議長会表彰要件

区分	正副議長	議員	区分	正副議長	議員
特別表彰	32年以上	50年以上	一般表彰	4年以上	15年以上
	28年	45年		10年	
	24年	40年			
	20年	35年			
	16年	30年			
	12年	25年			
	8年	20年			

(2) 全国市議会議長会特別表彰者

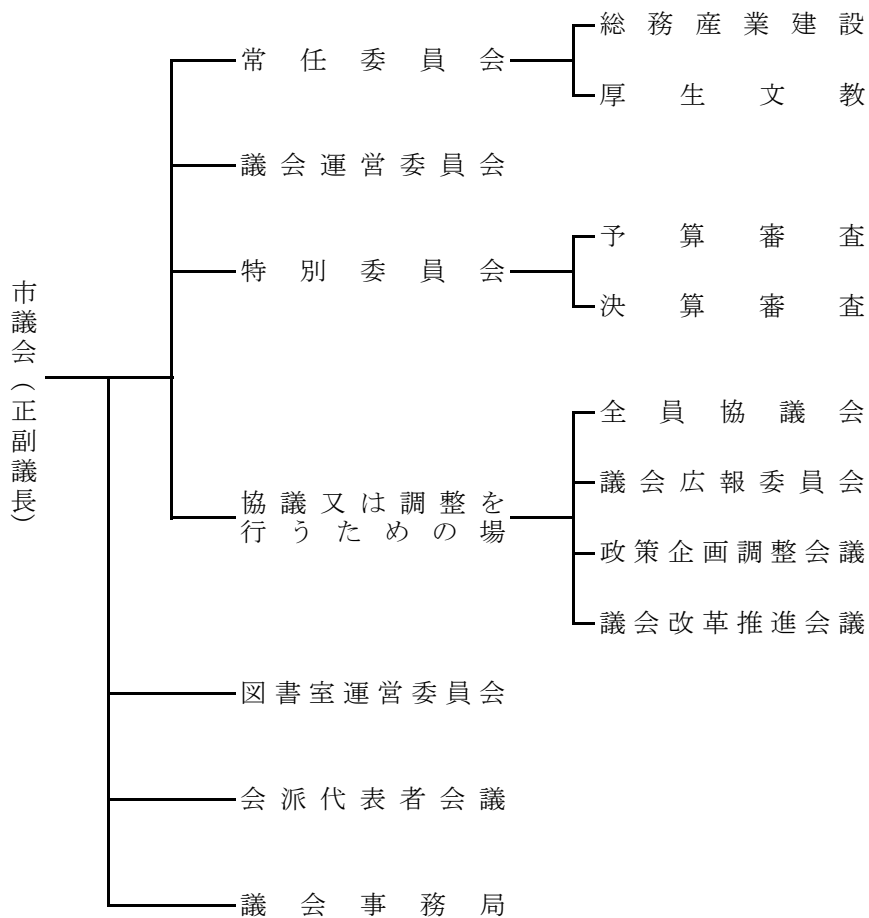
正副議長			議員		
在職年数	氏名	年度	在職年数	氏名	年度
正副議長12年	斎彦一	昭和58年度	20年	宍戸敏雄	昭和58年度
議長8年	太宰虎太郎	38年度	〃	佐藤徳三	62年度
正副議長8年	小川正人	令和6年度	〃	吉見三代治	平成3年度
副議長8年	阿部焯尾	昭和38年度	〃	和泉義孝	5年度
			〃	大槻慶治郎	7年度
			〃	高半文雄	〃
			〃	高半良吾	10年度
			〃	長半沢博三	11年度
			〃	半沢正喜男	〃
			〃	鹿又藤仲式	15年度
			〃	佐鈴大庭康一	19年度
			〃	大村高上義忠	〃
			〃	高佐上橋藤夫	〃
			〃	高佐沼山四	27年度
			〃	英啓	令和元年度
			〃	英啓	〃
			〃	英啓	5年度
議員			議員		
在職年数	氏名	年度	在職年数	氏名	年度
35年	斎彦一	平成2年度			
〃	遠藤倉雄	5年度			
30年	保科善久	昭和58年度			
25年	庄司猛太郎	49年度			
〃	橋本徳四郎	59年度			
〃	小室欣一	63年度			
〃	矢ノ目八蔵	〃			
〃	小山谷宗吉	平成7年度			
〃	長沢博	15年度			
〃	高橋喜多雄	〃			
〃	高制野昭	16年度			
〃	鈴野亨	〃			
〃	佐竹芳	〃			
〃	鈴木康弘	20年度			
〃	小川正人	令和4年度			
〃	沼倉啓介	6年度			

(3) 全国市議会議長会一般表彰者（議員在職10年・15年は現職のみ記載）

正副議長			議員		
在職年数	氏名	年度	在職年数	氏名	年度
議長4年	遠藤倉雄	昭和54年度	副議長4年	保科善久	昭和42年度
〃4年	小室欣一	62年度	〃4年	矢ノ目八蔵	54年度
〃4年	山谷宗吉	平成3年度	〃4年	橋本徳四郎	58年度
〃4年	佐藤英雄	23年度	〃4年	吉見三代治	62年度
〃4年	保科惣一郎	28年度	〃4年	半沢良吾	平成3年度
正副議長4年	佐竹芳	11年度	〃4年	長沢博	7年度
〃4年	佐藤仲式	14年度	〃4年	菅野浩一	19年度
〃4年	鈴木康弘	16年度	〃4年	小川正人	23年度
			〃4年	安藤佳生	28年度
			〃4年	大澁町谷	令和2年度
			〃4年	澁谷政義	6年度

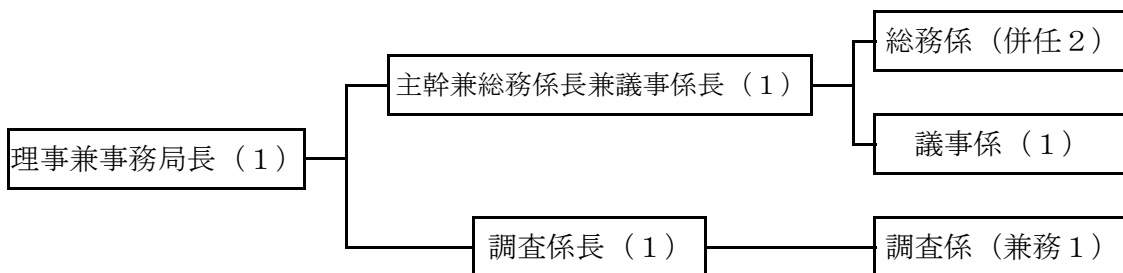
議員			議員		
在職年数	氏名	年度	在職年数	氏名	年度
15年	佐久間儀郎	令和4年度	10年	澁谷政義	令和4年度
			〃	伊藤勝美	〃

8. 議会の構成



9. 議会事務局（令和7年4月1日現在）

職員数 定数5人



10. 委員会

(1) 常任委員会

委員会名	定数	任期	所管事項
総務産業建設	8人	2年	総務部、市民経済部、建設部、会計課、上下水道事業所、選挙管理委員会、監査委員及び農業委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項。
厚生文教	8	2	保健福祉部及び教育委員会の所管に属する事項。

(2) 議会運営委員会

委員会名	定数	任期	所管事項
議会運営	7人	2年	議会の運営に関する事項。議会の会議規則、委員会条例等に関する事項。議長の諮問に関する事項。

(3) 特別委員会

委員会名	定数	所管事項
予算審査特別委員会	15	各定例会において提案される一般会計、特別会計及び企業会計の予算審査を行うため設置。委員会は、議長を除く全議員で構成。
決算審査特別委員会	14	9月定例会において提案される一般会計、特別会計及び企業会計の決算審査を行うため設置。委員会は、議長、監査委員（議員選出）を除く全議員で構成。

(4) 協議又は調整を行うための場

委員会名	定数	所管事項
議会広報委員会	8人	議会報の編集及び議会ホームページの運用に関する事項について協議又は調整を行う。
政策企画調整会議	8	広聴活動による市民意見等を政策立案や提言とするために議会としての対応方針等に関する事項について協議又は調整を行う。
議会改革推進会議	8 以内	議会のあり方及び議会改革が必要な諸課題に関する事項について協議又は調整を行う。

(5) 図書室運営委員会

委員会名	定数	任期	所管事項
図書室運営	5人	議員任期	図書室運営上必要な事項は、議長が図書室運営委員会に諮って定める。

11. 委員名簿

[◎ 委員長 ○ 副委員長]

(1) 常任委員会 (令和7年9月25日選任 同日正副委員長互選)

名称	人数	氏名
総務産業建設常任委員会	8人	◎大森 貴之 ○大内 卓也 角張 大治 伊藤 勝美 澁谷 政義 松野 久郎 四竈 英夫 小川 正人
厚生文教常任委員会	8人	◎角張 一郎 ○高子 秀明 村上 由紀 佐藤 龍彦 沼倉 啓介 佐久間儀郎 佐久間順子 佐藤 秀行

(2) 議会運営委員会 (令和7年9月25日選任 同日正副委員長互選)

名称	人数	氏名
議会運営委員会	7人	◎佐久間儀郎 ○澁谷 政義 高子 秀明 伊藤 勝美 大内 卓也 角張 一郎 四竈 英夫

(3) 特別委員会

名称	人数	氏名
予算審査特別委員会	15人	議長を除く全議員
決算審査特別委員会	14人	議長、監査委員（議員選出）を除く全議員

(4) 協議又は調整を行うための場

名称	人数	氏名
議会広報委員会 令和7年9月25日選任 〔同日正副委員長互選〕	8人	◎四竈 英夫 ○村上 由紀 角張 大治 佐藤 龍彦 高子 秀明 大森 貴之 佐久間順子 大内 卓也
政策企画調整会議 〔令和7年9月25日選任〕 〔同日正副委員長互選〕	8人	◎四竈 英夫 ○角張 一郎 村上 由紀 高子 秀明 澁谷 政義 大森 貴之 佐久間儀郎 大内 卓也
議会改革推進会議 〔令和7年9月25日選任〕 〔同日正副委員長互選〕	8人以内	◎佐久間儀郎 ○大森 貴之 佐藤 龍彦 高子 秀明 伊藤 勝美 佐久間順子 大内 卓也 角張 一郎

(5) 図書室運営委員会

名称	人数	氏名
図書室運営委員会 (令和5年8月10日委嘱)	5人	角張 大治 村上 由紀 佐藤 龍彦 佐久間順子 大内 卓也

12. 議会活動

(1) 本会議開催状況（議員の出欠・傍聴者）

年次	会議	区分	開会・閉会月日	会期	会議日数	出席	欠席	傍聴者数
第468回 定例会		6月17日～6月27日	11日	4日	63	1	24	
第469回 定例会		9月5日～9月27日	23日	5日	78	2	33	
第470回 定例会		12月9日～12月20日	12日	5日	80	0	29	
令和7年	第471回 定例会		2月13日～3月6日	22日	5日	78	2	32
	第472回 定例会		6月11日～6月24日	14日	5日	80	0	16
	第473回 定例会		9月3日～9月25日	23日	5日	79	1	27
	第474回 定例会		12月9日～12月22日	14日	5日	80	0	22

(2) 議案の議決状況

年次	会議	区分	市長提出				議員提出			審議結果					計
			予算	条例	決算	その他	意見書	決議	条例その他	原案可決	同意・承認	認定制	修正可決	継続審査	
令和6年	第467回 定例会		15	11	—	5	—	—	—	26	5	—	—	—	31
	第468回 定例会		5	5	—	17	1	—	—	12	15	—	1	—	28
	第469回 定例会		6	3	3	4	—	—	—	11	3	2	—	—	16
	第470回 定例会		8	9	—	7	—	—	—	20	4	—	—	—	24
令和7年	第471回 定例会		15	11	—	5	—	—	2	29	2	—	2	—	33
	第472回 定例会		3	3	—	10	—	—	—	7	9	—	—	—	16
	第473回 定例会		4	4	3	6	—	—	—	13	2	2	—	—	17
	第474回 定例会		9	6	—	9	—	—	—	22	2	—	—	—	24

(3) 議員提出議案の審議状況

(ア) 意見書・決議

年次	件名	議決年月日	結果
令和6年	現行の健康保険証の存続を求める意見書	R 6. 6. 27	否決
令和7年	—		

(イ) 条例・規則等

件名	内容	議決年月日	結果
白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	副市長定数条例が2名に改正されたことに伴い、議員報酬を減額する改正	R 7. 3. 6	否決
白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	副市長定数条例が2名に改正されたことに伴い、市長及び副市長の報酬を減額する改正	R 7. 3. 6	否決

(4) 請願陳情の受理・処理状況

(ア) 請願の処理

年次	件名	付託委員会	議決年月日	結果
令和6年	—	—	—	—
令和7年	—	—	—	—

(イ) 陳情等の受理件数

区分 \ 年	令和6年	令和7年
陳情書	7件	9件
その他	0件	0件
計	7件	9件

(5) 委員会等開催状況

区分	委員会名	令和6年開催日数	令和7年開催日数
委員 常任 会	総務産業建設	9	6
	厚生文教	10	10
	議会運営委員会	20	15
委員 特別 会	予算審査	2	3
	決算審査	3	3
調整 協議 を行う 又は 場	全員協議会	3	3
	議会広報委員会	11	9
	政策企画調整会議	8	8
	議会改革推進会議	3	2
	会派代表者会議	4	6
	図書室運営委員会	—	—

13. 一般質問（質問者及び質問事項）

<p>第467回定例会（令和6年2月）</p> <p>四 竈 英 夫（一問一答） ○能登半島地震に対する支援体制について ○教職員のカードポイント問題について 佐久間 儀 郎（一問一答） ○地域ブランドについて ○フレイル予防と対策について 佐久間 順 子（一問一答） ○災害発生時の要支援者対策について 大 内 卓 也（一問一答） ○地域公共交通計画の施策推進について 大 森 貴 之（一問一答） ○防災減災対策強化について 角 張 大 治（一問一答） ○まちづくり協議会について ○白石地区地域づくりフォーラムの進め方について 佐 藤 龍 彦（一問一答） ○会計年度任用職員の処遇について ○公立刈田総合病院と地域医療について 村 上 由 紀（一問一答） ○災害発生時の女性や妊産婦・乳幼児への対応について 伊 藤 勝 美（一問一答） ○市長の政治姿勢について</p>	<p>○公立刈田総合病院の現状と地域医療について 高 子 秀 明（一問一答） ○（仮称）白石中央SIC周辺整備後の本市経済効果について 大 内 卓 也（一問一答） ○第1回女子硬式野球交流大会について 四 竈 英 夫（一問一答） ○再生可能エネルギーの推進について ○今後の小中学校教育のあり方について</p>
<p>第468回定例会（令和6年6月）</p> <p>佐 藤 秀 行（一問一答） ○高齢者等支援事業について ○市制施行70周年記念事業について ○本市の教育について 佐久間 儀 郎（一問一答） ○迅速な罹災証明書の発行・交付について ○暑熱避難施設（クーリングシェルター）について 小 川 正 人（一問一答） ○選挙の投票率向上対策について ○水害対策について ○益岡公園について ○白石市の組織について 佐久間 順 子（一問一答） ○子供の食と健康について ○不妊と食生活の取組について ○食生活改善と腸内環境改善について 角 張 大 治（一問一答） ○（仮称）道の駅しろいしについて ○（仮称）道の駅しろいし及び関連する公共施設について 村 上 由 紀（一問一答） ○幼児教育・保育のあり方に関する基本方針（案）について ○安心して子供を産み育てられるまちづくりについて 大 森 貴 之（一問一答） ○マイナンバーカードの健康保険証利用登録等について ○内水氾濫防止について ○大規模災害発生時の仮設住宅等について 佐 藤 龍 彦（一問一答） ○本市の教育及び教育環境について</p>	<p>第469回定例会（令和6年9月）</p> <p>大 内 卓 也（一問一答） ○白石市幼児教育・保育のあり方に関する基本方針について ○宮城県立白石高等技術専門校の利活用について 佐久間 儀 郎（一問一答） ○空き家対策推進について 佐 藤 龍 彦（一問一答） ○交通弱者支援について ○（仮称）白石中央SIC周辺のインフラ整備事業について 四 竈 英 夫（一問一答） ○畜産農家への支援について ○市役所新庁舎の建設について 村 上 由 紀（一問一答） ○困難を抱えた子どもたちへの支援施策の推進状況について ○子ども第三の居場所「しろいしきち」について 大 森 貴 之（一問一答） ○伝統工芸品への支援について 佐久間 順 子（一問一答） ○障害者支援対策について</p>
	<p>第470回定例会（令和6年12月）</p> <p>大 内 卓 也（一問一答） ○太陽光発電施設の建設について ○（仮称）道の駅しろいしおよび防災公園について 佐久間 順 子（一問一答） ○高齢者や障害者の投票率向上について ○婦人防火クラブの在り方について 村 上 由 紀（一問一答） ○公立刈田総合病院の周産期医療提供体制について ○本市の妊産婦助成制度（経済的支援）について ○本市妊産婦の方への伴走型相談支援の取り組みについて 角 張 大 治（一問一答） ○保険事業の負担と受益およびその周知について 大 森 貴 之（一問一答） ○聴覚情報処理障害（APD）に対する本市の対応について 佐 藤 龍 彦（一問一答） ○本市の投票環境および投票率の向上対策について ○本市の子どもの貧困および子育て支援について 佐 藤 秀 行（一問一答） ○運動施設の設備等について 四 竈 英 夫（一問一答） ○児童・生徒のいじめ・問題行動・不登校について</p>

<p>第471回定例会（令和7年2月）</p> <p>佐藤龍彦（一問一答） ○公立刈田総合病院の現状と今後について</p> <p>四竈英夫（一問一答） ○本市農業の現状と今後について</p> <p>大内卓也（一問一答） ○本市職員の働き方改革と職場環境の改善について</p> <p>○本市各地区公民館の運営について</p> <p>村上由紀（一問一答） ○白石城開門30周年記念イベントについて</p> <p>○本市の観光振興の推進について</p> <p>大森貴之（一問一答） ○スフィア基準とTKB+Wに対する見解について</p> <p>澁谷政義（一問一答） ○本市の防災・減災対策の充実について</p> <p>○防犯カメラの設置状況について</p> <p>○市道周辺の除草について</p> <p>角張大治（一問一答） ○市職員の労働状況について</p> <p>○多様化する住民ニーズへの対応について</p> <p>○外部人材の管理職、特別職への登用について</p> <p>佐藤秀行（一問一答） ○みやぎ蔵王白石スキー場について</p> <p>○米寿祝いの賀状の贈呈について</p> <p>○学びの多様化学校について</p>	<p>佐藤龍彦（一問一答） ○エアコンの購入費用の補助について</p> <p>○中央公民館のインターネット予約について</p> <p>角張大治（一問一答） ○国のコメ政策転換と白石市の工業団地計画について</p> <p>大森貴之（一問一答） ○防災減災対策の拡充について</p> <p>四竈英夫（一問一答） ○スパッシュランドパークの今後について</p> <p>○教育現場における不適切行為への対応について</p> <p>高子秀明（一問一答） ○本市職員の職場環境整備とメンタルヘルス支援について</p> <p>村上由紀（一問一答） ○地区公民館職員の待遇改善について</p> <p>○まちづくり連合会からの要望書について</p> <p>○地区公民館の整備と今後のあり方について</p>
<p>第472回定例会（令和7年6月）</p> <p>大内卓也（一問一答） ○旧白川中学校利活用について</p> <p>○（仮称）道の駅しろいしについて</p> <p>佐久間順子（一問一答） ○不登校の取り組みについて</p> <p>○婦人防火クラブの今後について</p> <p>佐藤龍彦（一問一答） ○中央公民館のインターネット予約について</p> <p>○子育て応援住宅について</p> <p>佐久間儀郎（一問一答） ○企業誘致について</p> <p>○AED（自動体外式除細動器）の配備について</p> <p>角張大治（一問一答） ○旧白川中学校利活用事業について</p> <p>大森貴之（一問一答） ○本市における熱中症対策について</p> <p>村上由紀（一問一答） ○今後の幼児教育・保育政策の展望について</p> <p>○白石市小中学校教育の在り方について</p> <p>四竈英夫（一問一答） ○県道白石柴田線白石第一小学校北側通りの安全対策について</p> <p>○白石市博物館構想について</p>	<p>第474回定例会（令和7年12月）</p> <p>佐久間順子（一問一答） ○放課後等デイサービスと保育所等訪問支援について</p> <p>○少子化に伴う子育て支援のさらなる充実について</p> <p>大内卓也（一問一答） ○本市のクマ対策について</p> <p>四竈英夫（一問一答） ○クマ出没対策について</p> <p>○冬場の交通安全対策について</p> <p>○冬季間の防火活動について</p> <p>高子秀明（一問一答） ○学校再編計画と教育環境及び教育を受ける権利について</p> <p>角張大治（一問一答） ○議会議員と首長の役割整理と制度理解の促進について</p> <p>佐藤龍彦（一問一答） ○本市の孤独・孤立死対策について</p> <p>○国民健康保険税の子供の均等割軽減について</p> <p>大森貴之（一問一答） ○重点支援地方交付金・推進事業メニューについて</p> <p>○衛星写真による漏水調査について</p> <p>澁谷政義（一問一答） ○クマの出没被害対策について</p> <p>伊藤勝美（一問一答） ○財政の今後の見通しについて</p> <p>○新年度の当初予算編成について</p> <p>○デジタル教科書について</p> <p>村上由紀（一問一答） ○白石市博物館基本構想について</p>
<p>第473回定例会（令和7年9月）</p> <p>大内卓也（一問一答） ○大学院大学設置について</p> <p>佐久間儀郎（一問一答） ○成年後見制度の充実について</p> <p>○クマの出没と鳥獣保護管理法の改正について</p>	<p>※一般質問における一問一答方式の導入の経緯は、平成23年2月議会より試験的に導入し、選択制を経て平成26年2月議会から一問一答方式に統一。質問者は登壇せず、質問者席で対面により行うこととした。</p>

白石市議会要覧

令和7年版

令和8年3月発行

編集発行 白石市議会事務局

〒989-0292

宮城県白石市大手町1番1号

TEL(0224)22-1351